

「家族」がいてくれてよかった」

匿名希望

「家族」とは、その言葉を深く考えるキッカケをいただけしたのは、ちょうど去年の今頃に旦那がウツになり子供が宿題で持ち帰った、こちらのコンクールをみたときでした。

あれから一年あまりで生活リズムもようやく落ち着きはじめ、一番心配していた子供達の父親に対する反応も：長男が空気を読んで何事もなくふるまってくれており：小学三年生の子供に気を遣わせてばかりで申し訳ないと思いつつも、この一年で「ひらきなおり」を大はばにレベルアップさせてしまった母としては、日々旦那に同情と幻滅をくり返していくうちに、最近はずと「それでも笑えるから大丈夫」と何事に対しても思えるようになりました。いつ自分の命を軽んじるかも解らない人と24時間一緒にいながらも突然別人のようになることへのとまどいと驚きに、気が滅入るとはこういう事かと思いつつ、自分もウツにひきこまれていく中で、子供の無邪気さに救ってもらい立ちあがる事ができた私は、この「家族」に出会えて本当に運が良かったと思いました。だからこそ最初に家族になり今の家族を作ってくれた旦那には、これからも家族として幸せに生きて欲しいと思います。

個々により幸せのあり方は違えど、「家族」との幸せは今の私にとっては生きる糧なのだと思います。